

第6次横浜町総合振興計画（案）に関する意見について

実施期間：令和3年1月25日（月）～2月15日（月）

受付件数：3件 意見項目数：4項目

意見番号	該当箇所	意見・提案の概要	意見等に対する本町の考え方
1	第2章 第4節 土地利用の基本方針	シビックセンターゾーンの整備検討を謳っているが、第6次総合振興計画の最終年には下北縦貫道路も延伸されて横浜 IC 周辺以外は閑散とした状況が見えているだけに整備検討というあいまいな表現でなく、前向きな総合振興計画、その先の実施計画につなげてほしい。	第1章第1節の計画策定の趣旨において記述しているように、本計画は、これまでのまちづくりの成果を継承・発展させつつ、新たな町政の基本的な方向とそれに基づく施策・事業を体系的に明らかにし、今後10年間にわたる本町の施策・事業を総合的に推進する指針として、また、町民と行政との協働によるまちづくりへの活動指針として策定するものとしております。 具体的な計画においては、今後策定及び更新されるそれぞれの個別の事業計画において実施・検討していく事となります。 ご意見については、貴重な意見として今後の参考とさせていただきます。
2	第3章基本計画 基本目標5 基本施策4 商工業の振興 (1) 経営力向上 (2) 顧客吸引力向上 (3) 商店街の活性化 (4) 地場産品を生かした商業活動の展開	下北半島縦貫道路に南P、北Pに45億の予算がつき、横浜町が通過点となろうとしており、279号線沿いのガソリンスタンド、飲食店、コンビニは厳しい経営悪化が現実となる。道の駅周辺でのシビックシティ化としての集積を公設民営で出来ないか。商店の減少に伴う買い物弱者対策としての移動販売事業の展開を図るとしているが、問題解決しなければならない点も多く、予約制にするとか、町業務の見守り、業務連絡などから業務受託して町補助金を取り込んでいかないと継続性は難しい。町が主導的にできない部分もあるので役割分担を明確にするべく協議会立上げも明文化してほしい。	移動販売事業については、総合振興計画の中において、顧客吸引力の向上と買い物弱者への取組の一つとして町の方針を示させていただいております。具体的な個別の施策については、それぞれの事業計画において実施・検討を重ねていく事となります。 ご意見については、貴重な意見として今後の参考とさせていただきます。
3	全体として	横浜町の強みや課題、時代状況等を総合的に踏まえながら各分野において進むべき方向性や将来に向けて目指す姿を描いたものと思います。 基本目標、施策体系、目標値等が5年後、10年後に実現できる根拠があるのか。民間のコンサル委託先が東京に本社がある大手法人であれば「地方創生」が「一極集中」で取り込まれている現実どう思うのか、委託しないで独自に計画ができないのでしょうか。どのような根拠で目標値を設定し、どのようなプロセスで達成できるのか考えてほしい 1案 全町民に対する情報提供として、計画作成の広報特集号を配布してほしい。 2案 公共施設の一元管理 公共施設課を設置し、それぞれの課が所管している「縦割り」を一元的に管理する。 この計画の有する価値や思いを町民全体で共有し、協働して実現できればと思います。	目標値の設定については、基本目標及び基本施策に向け、それぞれの事業を実施したときにどのような効果があるのかを検討したうえで、事業の実務担当課において、ある程度実現可能な数値として掲げたものとなっております。  町民への情報提供としては、概要版を作成し毎戸配布することとしております。  公共施設の一元管理等ご意見については、貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。

第6次横浜町総合振興計画（案）に関する意見について

4	全体として	<p>道の駅から横浜温泉までの散策コースづくり。 旧児童センターの一部をリフォームして「味噌づくり」とか「陶芸」体験。 三保野公園に桜を植え、現在ある舞台を活用して今よりイベントを増やす。 鯉のぼりを三保川に（100匹以上） 漁協荷捌き場のあたりに「海の駅」、焼きホタテや生ホタテの販売等。 川沿いの空き地に「川の駅」、カフェコーナー、小物売り、横に鍵かけ神社を作り、買った鍵には購入者が名前等を記入し奉納する。 「道」「川」「海」の三つの駅のある町として名をあげる。</p>	<p>さまざまなお提案ありがとうございます。 いただいたご意見は、貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。</p>
---	-------	--	--